

東北学院大学の姿勢

2019

東北学院大学就職キャリア支援部からのご案内

キリスト教精神を軸とした 教養教育重視型総合大学として、 高い知性と豊かな人間性を備えた 地域に貢献できる人材を育成しています。

東北学院がキリスト教伝道者押川方義と宣教師W.E.ホーイによって仙台に創設されてから133年になります。近代日本の激動の中で、本学もまた多くの変遷を経て今日に至っております。この間、一貫して建学の精神を堅持しつつ高等教育に従事してまいりました。

現在、本学は、6学部および6大学院研究科を備え、東北以北最大の私立総合大学へと発展し、日々改革に取り組んでおります。2016年9月には土樋キャンパス北側にホーイ記念館をオープンさせました。従来のような一方方向の授業ではなく、学生の主体的学習を充実させるラーニングコモンズを備えた開放的な校舎です。これと併せて東北学院は、都市型大学を発展させてゆきます。

本学では、これまで重要視してきた個人尊重の人格教育とそれぞれの分野において能力を発揮できる専門教育をバランスよく展開する努力をしています。これまで、多くのOB、OGの卒業後の活躍・社会貢献などによって「東北学院大学出身者は信頼できる」との評価をいただいておりますことを嬉しく思っております。

現在、東北学院の卒業生は延べ18万人を超え、広く各方面で活躍しております。今後とも社会で大いに活躍できる人材を輩出していくように努力いたしますので、皆様方の一層のご理解とご高配を賜りますよう心からお願い申し上げます。

東北学院大学…教育の姿勢 学生一人ひとりの個性を尊重しながら、着実な成長を支援しています。

教養力	情報力	学際力
バランスの良いカリキュラムで豊かな教養を備えた人材を育成 本学が最も重視しているのが、個性尊重の人格教育と各分野において能力を発揮するための専門教育、そしてキリスト教を基にした教養教育です。このようなカリキュラムをバランス良く展開しながら、学生一人ひとりの成長を支援しています。	実社会で役立つコンピュータ活用能力を身につけます 本学では、全学生のコンピュータ活用能力の向上を支援する充実の情報環境を整えています。カリキュラム面では、教養教育系科目を中心にコンピュータの基礎的な技能を修得。また各自の志向に応じて、より高度なノウハウを身につけることも可能です。	所属学部・学科の枠を越えた多角度からの研究アプローチを推進 本学では、複数の分野を横断するような「学際性」を重視し、多角度からの研究を推進しています。各学部それぞれに専門知識を有する教員がおり、所属学部を越えて学生が魅力を感じる教員の講義を受けたり、研究室を訪ねて質問したりすることができます。
実践力	課題解決能力	地域貢献
地域との連携や交流を通じた多彩な研究活動に数々の実績 自ら考え、行動し、何かを作り上げて発信していく。本学では、机上で学んだ知識を実践の場において活用できるスキルの修得にも力を入れています。中でも地域の自治体と連携した諸活動や、地域の方々と交流しながらのゼミ活動には多くの実績があります。	様々な課題に対し、自らの力で乗り越えていける人材を育成 4年間の学習・研究の過程の中では、時に様々な課題に直面し、困惑することも少なくありません。このような際、本学では「自らの力」で乗り越えていくことを重視。人間力と実践力を育みながら、社会人にとって必要不可欠な課題解決能力を養います。	132年の長きにわたり“地域貢献大学”としての姿勢を貫いています 東北の中心地である仙台で開学し130年。この長い歴史の中で、本学は様々な形で地域貢献を重ねてきました。仙台・宮城にとどまらず、東北各地を対象に研究成果を還元するなど、まさに「地域貢献大学」としての姿勢を現在もお貫いています。

学位授与の方針 本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。

- 1/現代をよく生きることについて、キリスト教の教養をふまえた考察ができる。**
聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。
- 2/高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。**
高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力(コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、教理リテラシーなど)及び英語力を身につけ、活用することができる。
- 3/ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。**
自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。
- 4/専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる。**
専攻する学問分野における基本的知識、その学問分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。
- 5/課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる。**
地域の課題をはじめとする様々な具体的な課題を見つけ、それまで獲得した学修成果を総合的に活用することでその課題を解決することができる。

Profile

東北学院大学長
大西 晴樹

1983年神奈川大学大学院経済学研究科博士後期課程満期退学。経済学博士。1991年visiting scholar, Regent's Park College, Oxford University (1993年迄)。明治学院大学教授、同経済学部長、学長、学院長を経て2019年4月より東北学院大学学長就任。

